

「取組検討分科会」における検討結果について

- (1) 検討経緯
- (2) 国際物流戦略チームにおけるLogi-Link（仮称）の意義
- (3) Logi-Link（仮称）のシステム概要
- (4) 今後のスケジュール

取組検討分科会について

- 取組検討分科会では、これまで進めてきた取り組みに加え、関西全体にわたり改めて物流課題を整理・検討し、その解決に向けた施策・方向性を提案することを目的としている。
- 中小企業を含めて国際物流の課題を整理し、新たな取組について検討する。

【国際物流戦略チームにおける取組検討分科会の位置づけ】

本部
本部長：関西経済連合会 会長
構成員：代表者（産）、学識者（学）、局長（官）など
役割：戦略に関する意志決定

幹事会
座長：黒田勝彦 神戸大学 名誉教授
構成員：実務担当部代表者（産）、学識者（学）、部長（官）など
役割：戦略の検討

取組検討分科会
座長：小野憲司 京都大学防災研究所 特定教授
構成員：実務担当者（産）、学識者（学）、課長（官）
役割：具体的な取組課題と施策の検討

【これまでの主な経緯】

- 平成28年 3月22日 第12回本部会合において「取組検討分科会」の設置承認
- 平成28年 6月17日 第1回 取組検討分科会 開催（取組課題の検討）
- 平成28年 7月29日 第2回 取組検討分科会 開催（解決策の概要検討）
- 平成28年 9月27日 第3回 取組検討分科会 開催（解決策の詳細検討）
- 平成28年11月14日 第25回幹事会において「取組検討分科会」の検討状況報告
- 平成29年 1月27日 第4回 取組検討分科会 開催（解決策の詳細検討）

【取組検討分科会の構成員】

小野 憲司 京都大学防災研究所 特定教授（座長）
 飴野 仁子 関西大学商学部 教授
 石黒 一彦 神戸大学大学院海事科学研究科 准教授
 上村 多恵子 ロジスティクス経営士（オブザーバー）
 西村 和芳 （公社）関西経済連合会地域連携部 次長
 足利 剛 近畿運輸局交通政策部環境・物流課 課長
 幸松 和明 大阪航空局空港部関西国際空港・大阪国際空港課 課長
 酒井 貴司 近畿地方整備局港湾空港部 計画企画官

（参考）「国際物流戦略チーム取組検討分科会(仮称)の設置について(案)」

1. 経緯・目的

「国際物流戦略チーム」は2005年に全国に先駆けて産学官の連携の下に設置され、その後の約10年間の活動の中で、取組の方向性を示す「広域連携を通じた国際競争力強化に向けた提言」(2006年4月)等を取りまとめ、「大阪湾諸港の一開港化」の実現等の成果を上げてきた。

今年度は、国際物流戦略チームの取組の方向性を示す「今後の取組(2016-2017)」について、国際物流を巡る環境変化に対応しつつ、これまでの取組内容をベースに、策定する予定。

今後、国際物流戦略チームは、「今後の取組(2016-2017)」の策定に留まらず、国際物流の効率化をより一層進めていくことが重要であると考えている。

そのため、これまで進めてきた取り組みに加え、近畿地区全体にわたり改めて課題を整理・検討し、その解決に向けた施策・方向性を提案することを目的として、「国際物流戦略チーム 取組検討分科会(仮称)」(以下「取組検討分科会」)を設置することとした。

第25回幹事会における検討状況の報告について

第25回幹事会（平成28年11月14日）における報告内容

- ・ 第1～3回取組検討分科会では、関西経済における近年の動向等を踏まえ、事業者の物流課題について調査し、多様な事業者からの創貨を後押しするソフトインフラについて検討した。
- ・ 物流課題により輸出開始が困難な荷主企業及び荷主企業の物流ニーズを把握したい物流事業者等に焦点を当て、フォワーダーの検索機能及び国際物流に関する質問掲示板を備えた、Webサイト「Logi-Link（仮称）」の開設を提案する。
- ・ 今後のスケジュールとしては、平成28年度に「Logi-Link（仮称）」の機能・システムについて検討し、平成29～31年度に実証実験として事務局が運用し、その後はシステムの担い手を探す予定。
- ・ 国際物流戦略チームのこれまでの取組に、新たなソフト面の取組である「Logi-Link（仮称）」を加え、「関西輸出促進プロジェクト（仮称）」として関西における国際物流の活性化を図る。

関西輸出促進プロジェクト（仮称） ～世界に売り出せ関西の力～

- 小ロット貨物への対応、海外展開に関する情報提供等の促進への対応策として、「多様な事業者からの創貨を後押しするソフトインフラ」を国際物流戦略チームによる主な解決策のひとつとして位置付けた。

1. 関西の特徴

○ 関西は個性的で多様、産業等の諸機能が集積、アジアとのつながりが深い地域

- ・グローバル企業、多様な中小企業が集積
- ・自然とのつながりが深く、固有の「食ブランド」を有する
- ・アジアと歴史的・経済的に結びつきが強い
- ・「阪神港」や「関西国際空港」等の物流インフラが充実

○ 新興国の急速な経済成長、グローバル化の進展、TPPの発効を見据え、関西を「アジアの物流拠点」とするチャンス

- ・物流インフラの更なる充実が重要
- ・国内での集貨の機動性確保が重要
- ・多様な事業者からの創貨を後押しするソフトインフラが必要

2. 関西に立地する企業の輸出入における主な課題と国際物流戦略チームによる主な解決策

注：括弧書きは「今後の取組(2016-2017)」の掲載項目

物流インフラの更なる充実

- 輸送手段の運行頻度の維持・拡大
- 製造拠点や物流拠点の集積
- 新たな高品質な物流サービスを提供する事業者の誘致
- 港湾や海上輸送のコストの低減
- 輸送時間の短縮
- 港湾・空港サービスの向上
- 国際戦略総合特区の優遇措置等の活用(4(2))
- 「集貨」・「創貨」・「競争力強化」による国際コンテナ戦略港湾「**阪神港**」の機能強化(4(3)ア)
- エアライン・フォワーダーの拠点整備・誘致等による国際貨物ハブ「**関西国際空港**」の機能強化(4(3)イ)

国内での集貨の機動性確保

- 道路等のインフラの補修
- 新たな道路等のインフラの整備
- 道路渋滞の緩和
- 港湾や海上輸送以外に係るコストの低減
- 輸送時間の短縮
- **大阪湾岸道路西伸部**及び**淀川左岸線延伸部**の事業化に向けた取組等**道路ネットワークの整備推進**(4(3)ウ)
- **スマートICの整備**による高速道路ICへのアクセス性改善による**既存道路ネットワークの機能強化**(4(3)ウ)
- 鉄道貨物利用の促進
- **Sea&Rail 輸送の拡充**と、外航海運との接続をベースとした輸送を実現させ、鉄道の国際複合一貫輸送を推進(4(3)エ)

○ 環境負荷の低減

- トラックによる輸送を鉄道輸送や海上輸送に転換する**モーダルシフトの推進**、港湾活動に使用する**港湾荷役機械の省エネルギー化**等の推進(4(4)イ)

○ 運送事業者の人手不足への対応

- 「トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」など**具体的な労働環境整備**(4(4)ウ)

○ ルート規制の緩和

- 国際コンテナ車が重要な港湾等と大規模物流拠点間を支障なく通行可能となる**国際物流基幹ネットワークの整備推進**(最後の通行支障区間を平成27年3月に解消。)

多様な事業者からの創貨を後押しするソフトインフラ

- 小ロット貨物への対応、海外展開に関する情報提供等の促進 → 物流事業者の検索機能や物流情報交換機能を持ったウェブシステム「**Logi-Link(仮称)**」による**情報取得**

3. 今後の取組

- 今後、新たにソフト面の対応として、「**Logi-Link(仮称)**」を取組に加え、関西地域の国際物流に浸透させることで、更なる効率化につなげると共に、産学官が一体となった国際戦略物流チームの総合的な物流施策を引き続き活用し、関西地域の物流課題の改善、ひいてはアジアの物流拠点化につなげる。

Logi-Link (仮称) に関する新聞報道 (抄)

○ 第25回幹事会 (平成28年11月14日) 以降、新聞各紙においてLogi-Link (仮称) が取り上げられた。

Logi-Link (仮称) に関する新聞報道 (抄)

日付 (平成28年)	新聞名	紙面	見出し
11月15日 (火)	日本海事新聞	3	<u>荷主向けウェブサイト開設へ</u> 国際物流戦略チーム関西 17年度から実証実験
〃	リタイムテ-リーニュー-ス	5	<u>荷主と物流事業者を結ぶWebサイト開設</u> 関西の国際物流戦略チーム
〃	日刊海事通信	13	<u>荷主と物流事業者をつなぐWebサイト開設へ</u> 関西の国際物流戦略チーム幹事会
11月16日 (水)	日刊CARGO	6	<u>フォワード-検索機能・国際物流サイト開設へ</u> 関西国際物流戦略チーム
〃	建設通信新聞	11	<u>荷主向けに情報提供 輸出開始・拡大を促進</u> 国際物流戦略チーム

Logi-Link (仮称) の意義

- 国際物流戦略チームでは、国際コンテナ戦略港湾「阪神港」や関西国際空港等の活用を図りつつ、関西における国際物流の活性化に取り組んでいるところ。
- 国際物流戦略チームがLogi-Link (仮称) の実証実験を実施する意義は、公的機関を構成員に含む国際物流戦略チームが中立的立場から荷主と物流事業者の自由なビジネスを促進することで、ソフトインフラを活用し、国際物流の更なる進展や中小事業者を含む多様な事業者からの創貨を図ることにある。
- そこで、Logi-Link (仮称) の運営主体を国際戦略チーム事務局とし、物流事業者の協会・組合等を中心に物流事業者へユーザー登録を呼びかけることで、国際物流の経験が少ない中小荷主でも信頼できる情報にアクセスしやすくする。

1. Logi-Link (仮称) の意義

(荷主) 物流上のバリアを低減することで海外とのビジネスを促進

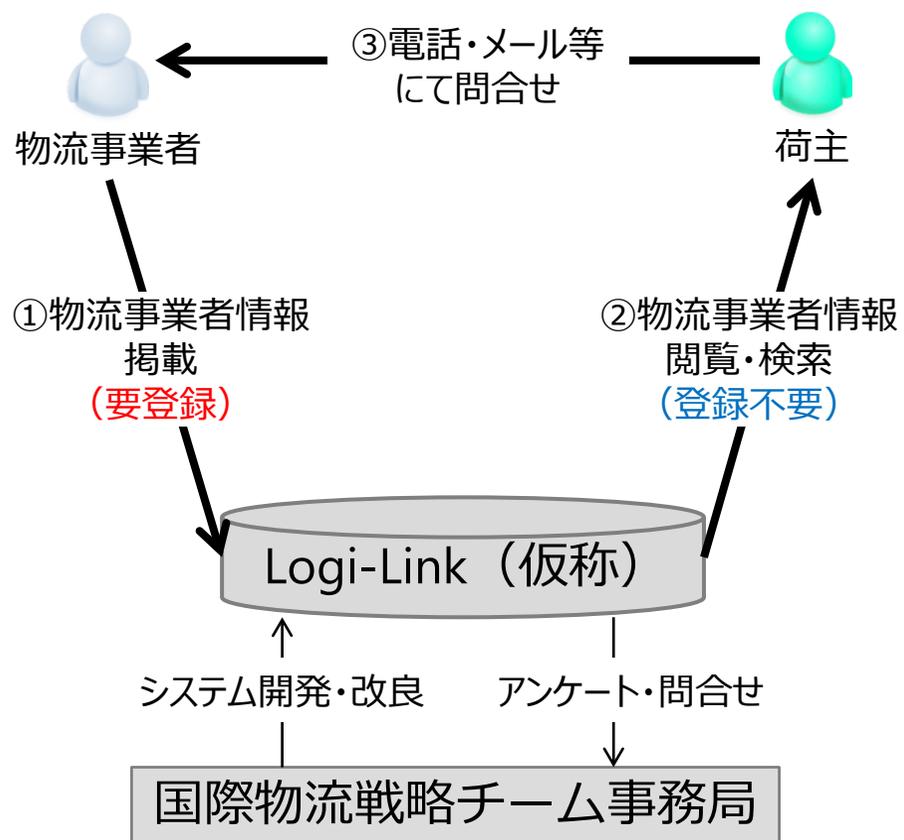
(物流事業者) 荷主の物流需要の発掘による物流サービスの創出を促進

2. Logi-Link (仮称) の運営方針

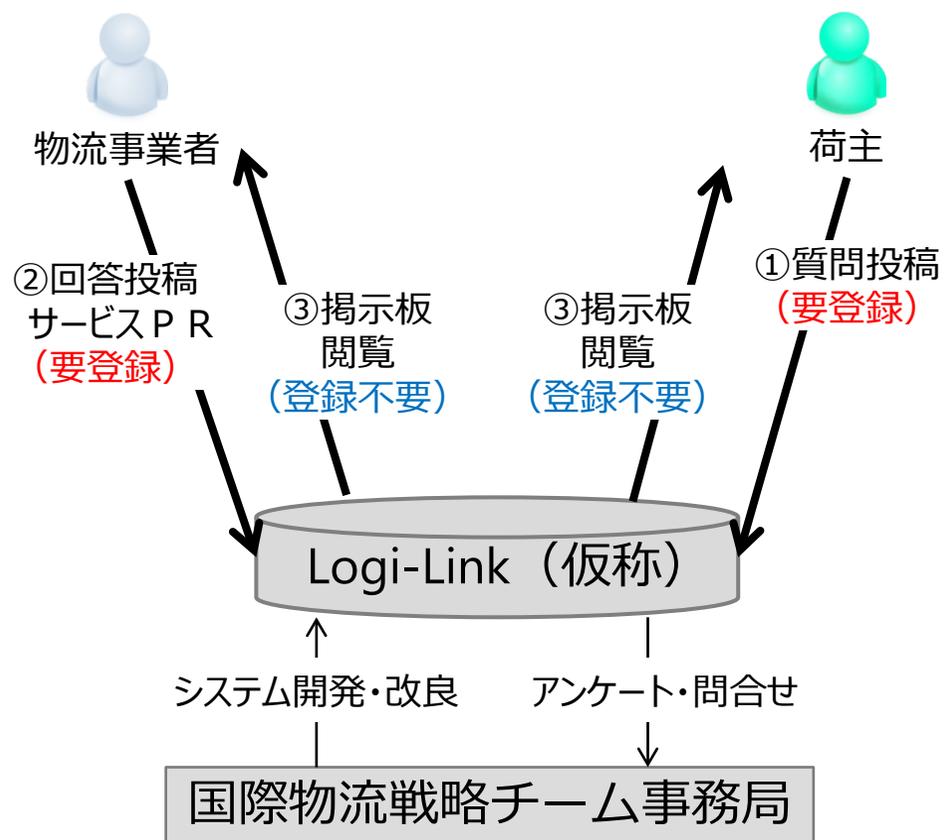
- 新たに輸出入を開始する等、国際物流に関する経験が少ない中小荷主でも物流事業者の取扱実績や対応可能な輸送条件等の信頼できる情報にアクセスしやすくする。
- 物流事業者へのユーザー登録依頼は、物流事業者の協会・組合等を中心に呼びかけることで、掲載する物流事業者情報の信頼性を向上させる。
- 国際物流戦略チームの事務局が運営主体となり、問い合わせフォーム等により利用者の需要を確認しつつ、システムの改善・拡張を検討する。
- 平成29～31年度の実証実験期間中は、システム改善や関連団体との連携により利用拡大を図り、その後は利用状況に応じて民間事業者等による運営を視野に入れる。

- 荷主・物流事業者による「物流事業者検索機能」・「物流情報掲示板」の閲覧は、アクセスフリー。
- 物流事業者による「物流事業者検索機能」への掲載は、物流事業者情報の登録が必要。
- 荷主・物流事業者による「物流情報掲示板」への投稿は、簡単な利用者登録により可能。

機能① 物流事業者検索機能

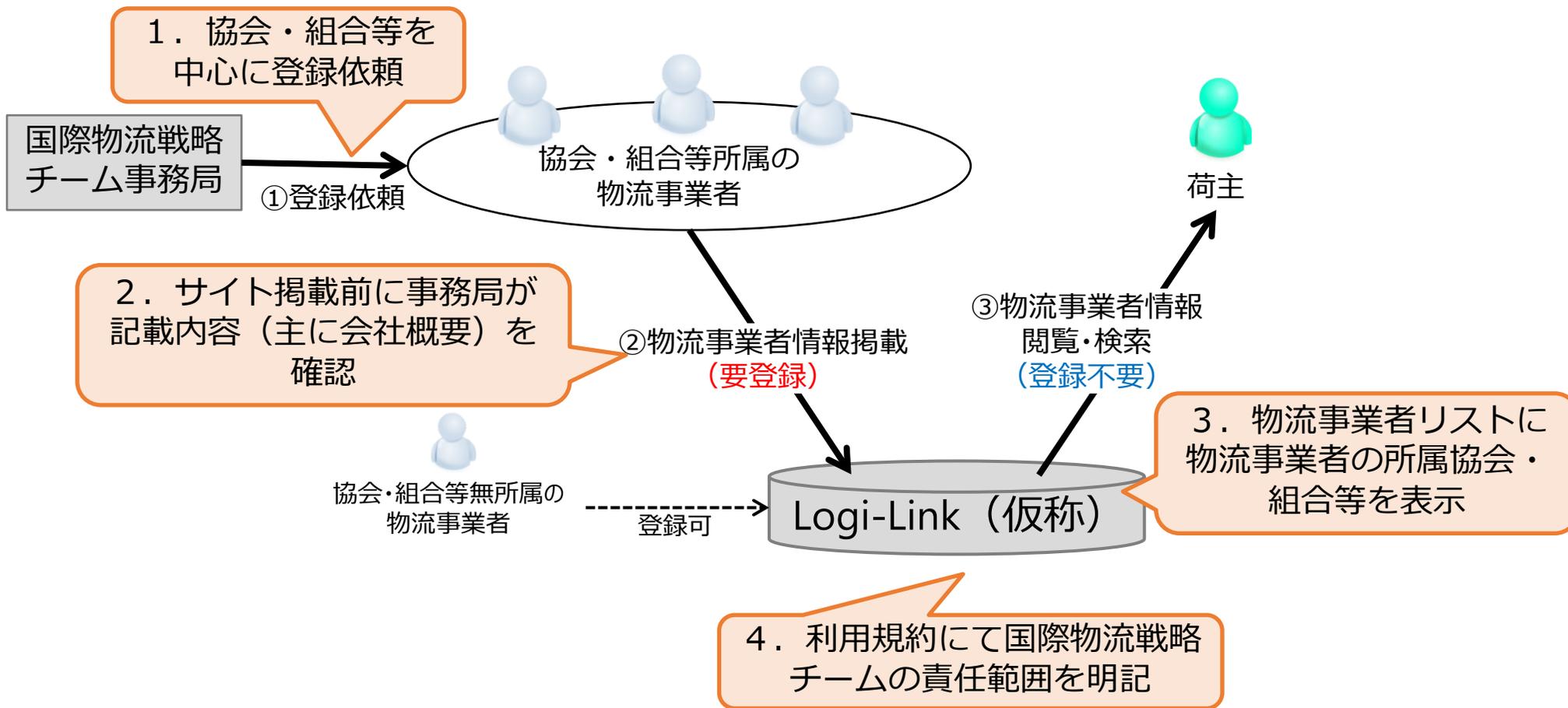


機能② 物流情報掲示板

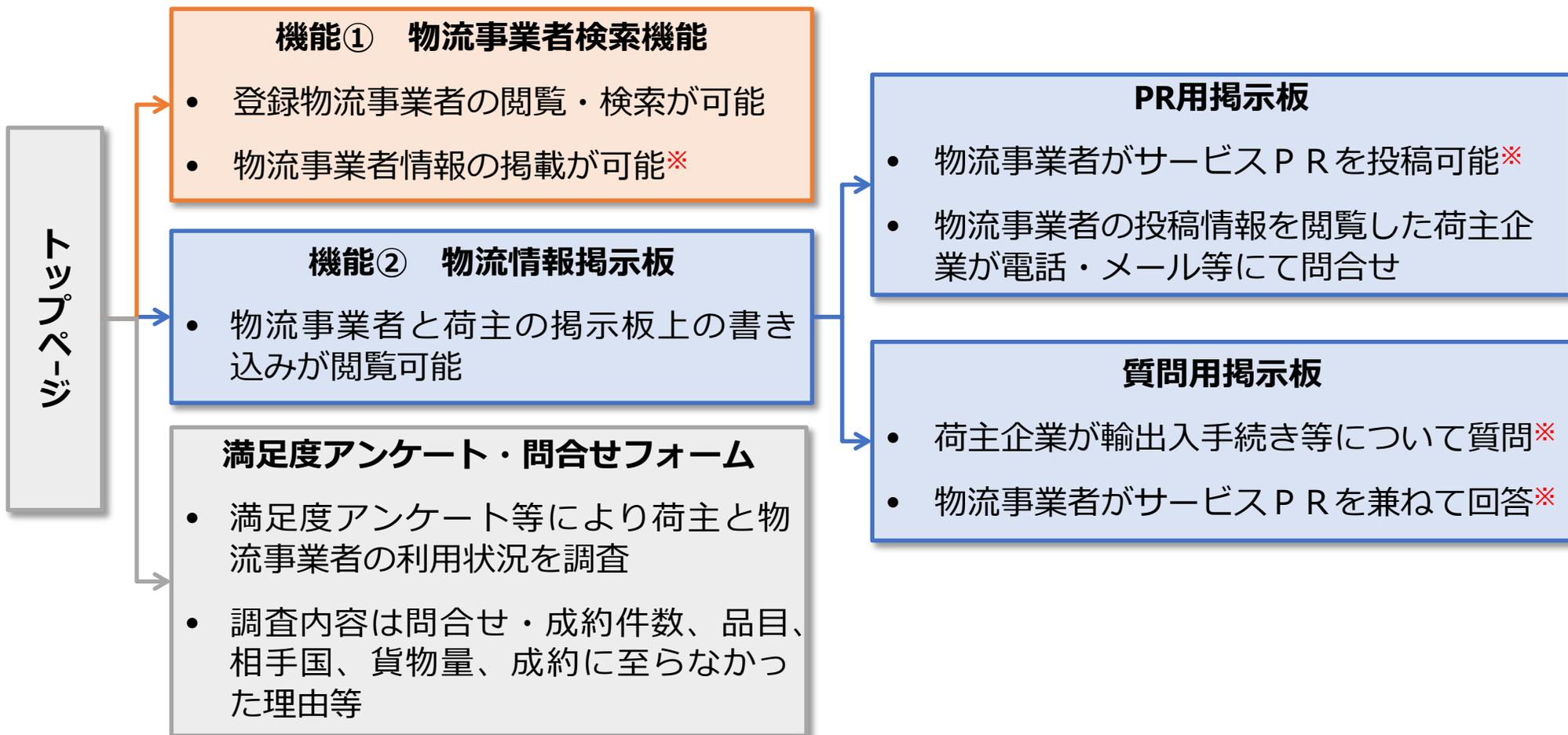


「物流事業者検索機能」の掲載情報の担保

- 国際物流戦略チーム事務局による「物流事業者検索機能」の掲載情報の信頼の担保については、物流事業者組合・協会等を中心に登録依頼を行い、その後登録された物流事業者の記載内容（主に会社概要）を確認する。
- 荷主がこれらの情報を閲覧する際には、物流事業者の所属団体を表示する。



- トップページより物流事業者検索機能及び物流情報掲示板 (PR用掲示板、質問用掲示板) へアクセス可能。
- 満足度アンケート・問合せフォームを設置し、Logi-Link (仮称) の利用状況把握を図る。



(※) ユーザー登録が必要な機能

Logi-Link (仮称) に関する今後のスケジュール (案)

- 実証実験 (平成29年度～平成31年度) として運用開始を目指す。
- 物流事業者、荷主それぞれに対してLogi-Link (仮称) の利用促進を呼びかける。
- Logi-Link (仮称) の各機能の検討・開発及び運用後の改良・拡張を図る。

			H28d	H29d	H30d	H31d
広報	物流事業者向け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物流事業者の協会・組合等を通して登録依頼 ・ 関西を中心に全国の物流事業者へ個別に登録依頼 				
	荷主向け	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際物流に関するセミナー等におけるLogi-Link (仮称) の紹介・チラシ配架 ・ 荷主の協会・組合等への個別訪問によるLogi-Link (仮称) の紹介 				
システム開発		<ul style="list-style-type: none"> ・ 物流事業者検索機能、物流情報掲示板の検討・開発 				
		<ul style="list-style-type: none"> ・ Logi-Link (仮称) の改良・拡張 				